国際ロータリークラブ第２５４０地区　　２０２４～２０２５年度

大曲南ロータリークラブ週報

事務所及び書類の宛先
〒014-0015　大仙市大曲白金町８－１７　大曲エンパイヤホテル内
会長：石川浩範　　幹事：佐々木卓

第２８３３回例会　２０２４年７月4日（木）12：30～（於：大曲エンパイヤホテル）

【ビジター】　平元智慧名誉会員

【乾杯】　百合子会員

卓也会員、圭司会員お誕生日おめでとうございます。
いよいよ、石川浩範会長、佐々木卓幹事の年度の始まりです。これまでの活動を大事にしながら、さらに固定観念等にとらわれない活動の一年が始まるように思います。
一緒に学んでいきたいのでゆっくりお願いします。

【４つのテスト】浩範会長

【会長の時間】浩範会長

①　ロータリー活動をもっとよく知ろう！

A.　例会で月1回は「会長の時間」でRI活動・強化月間のテーマや活動内容を発表

B.　例会で月1回はRC“用語”や“仕組み”“ルール”“新会員の疑問への回答”の時間を設ける

①　活動の充実！
A) ありがとう～・なるほど～・良かった～・楽しい～が、たくさんある例会・活動を

B) 月1回はイベント的例会・移動例会を実施→会員以外もお誘いし繋がりの輪を広げよう

C) 毎例会で「ニコニコ」の後に「その他の報告・意見・提言・なぜ？」の時間を設ける

③持続可能な組織活動と変革！

A)　会員各自ができることを発言・実行→いつでも・なんでも話し合う→協力100％

B)　『職業奉仕と社会奉仕の継続』会員各自の職業奉仕やボランティア活動と、長年当クラブで続けてきた社会奉仕を継続します

C)　過去の当クラブの活動・アイデンティティを尊重しつつ→現状に安住せず、活動の質を上げてチャレンジ・努力・変革を恐れず→希望ある組織づくり・活動をする

D)　大曲中央RC・大曲仙北RCとの合併を模索する＝全世界・全国が必要とする、次世代の文明システムの構築

E)　今期は大曲仙北分区６RCのメンバーである「佐藤和志」氏がガバナーです→全員参加＆一致団結して「地区大会」等を盛り上げて、地区内外や分区内の「好意と友情を深める」

私は、この7月で大曲南ロータリークラブ会員になりロータリアンになってまだ5年生になったばかりです。若輩者ですので、皆さまのご指導・ご協力が必要です、助けてください⤵
今回会長をするにあたって「国際ロータリークラブHP」「My　ROTARY」「第2540地区サイト」「ロータリーの友」「各種RC研修資料」を紐解いてみました。なんと知らないことが多いことか。。RC会員であること自体が社会貢献・奉仕活動の一助になっていることを知りました。だからこそ、会員は在籍しているだけでなく、充実したRC活動をすることによって「みんなのためになる」行動に昇華させなければならないと思いました。
そして、その活動は自己満足に留まらず、次世代に繋げる持続可能な組織活動が必要な時期と思い「活動計画書」を作成しました。
チャーリー・チャップリンはどの作品が最高傑作ですかと尋ねられて、「Next　One」と答えたといいます。その道を歩み続けることに満足できればきっと私たちは幸せです。
私たちは「ロータリーの目的・理念」を目指す”One　Team”です。私たちは各人が出来ることにBestを尽くし、話し合い・協力して大曲南RCとして大きな力を発揮し、次の一歩がより良いものになると信じて行動していきましょう！

【幹事報告】卓　幹事
・2023-2024年度ガバナー事務所閉鎖のお知らせ
・2024-2025年度ガバナー事務所開設のお知らせ
・ガバナー事務所より地区便覧４部
・2023-2024年年次報告書に関る地区表彰の申請、物故会員報告等について
・大曲支援学校より、令和6・7年度大曲支援学校をささえる会役員について
・NPO報人「ほっと大仙」より、会費納入のお礼と通常総会の報告
・今月から、夜例会開始時刻を18:30⇒18:00に変更

【出席報告】百合子会員　　「会員14名、対象12名、本日出席13名です」

【ニコニコ報告】圭司会員
・銀賞　レジェンドのチャーターメンバー小西名誉会員を偲んで。
　この前の夜間例会に来るつもりで今日になっちゃった。ごめんなさい。　智慧名誉会員
・銅賞　今期が始まりました。至らないことが多いと思いますが、なにとぞヨロシクお願いします
　浩範会長
・銅賞　2024-2025年度 幹事です。よろしくお願いいたします。　卓　幹事
・銅賞　石川会長・佐々木幹事 一年間よろしくお願いします。　利昭会員
・銅賞　新会長・幹事様よろしくお願いします。
　6/29日 小西安太郎様にお別れをして参りました。さびしくなりますね。　明美会員
・銅賞　石川会長・佐々木（卓)幹事 一年間よろしくお願いします。　実之会員
・銅賞　人事異動ありませんでした。大曲三年目になります。
　皆様 引き続きどうぞよろしくお願いします。　圭司会員
・銅賞　石川会長・佐々木（卓)幹事 一年間よろしくお願いします。　百合子会員

草薙会計より、「会計構成の提案について」

【７月『母子の健康月間』について】浩範会長

国際ロータリーホームページで調べてみました。
行動しなければ意味がない！などと言われますが、
知ることも「感じる・考える」ことの第一歩！

母子の健康

世界では毎年、5歳未満の子ども600万人近くが、栄養失調、不健康、不衛生のために命を落としています。ロータリーは、質の高い医療によって母と子の健康を守っています。

詳細はこちらから ›

※ 2024年の世界人口：81億1900万人で、昨年に比べ7400万人増加。
※ 2024年の日本人口：1億2260万人で世界第12位。⇒600万人は日本の人口の4,89 %
※ 2024年6月1日の秋田県の人口900,298 人
⇒**秋田県の人口の6,6倍の数の子どもたちが5歳の誕生日を迎えられない！**

ロータリーはこんな活動をしています

教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進しています。また、女性を対象に、HIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行

っています。

母子の健康における成果

私たちは、地域社会が自力で母子の健康を守っていけるよう研修と支援を行うことによって、持続可能なかたちで母子の健康を促進しています。

ロータリーによる活動の例：

出産前ケアの移動クリニック

ハイチは、西半球で母子の死亡率が最も高い国。この国で、医療ボランティアと助産師が僻地に住む母と子どもに医療ケアを提供できるよう、**医療機器を搭載したジープ**を寄贈しました。

可動式がん検診支援

インドにおける、可動式の癌検診機器一式の提供と、認識向上を目的とした研修の実施.

産科ろう孔の治療

自宅出産を安全に行うため、ロータリー会員が300万ドルを投入して5年間の試験的プロジェクトを開始しました。このプロジェクトでは、2005年以来、産科ろう孔で苦しむ女性たちの尊厳と希望を取り戻すために、当初の目標を500人上回る1500人の治療を行ってきました。

「母親が強く、健康であれば、その家族も強くて健康になり、貧困と飢餓も和らぎます」 Robert Zinserさん、人口と開発のロータリアン行動グループ共同創設者、BASF元アジア統括部長

持続可能なプログラム

適切な研修を受けた医者、看護師、助産師、医療従事者によるケアをすべての女性が受けられるよう支援しています。

「女性を守ることが変化をもたらすカギ」

ナイジェリアは世界の妊産婦死亡の23%、新生児死亡の11%を占めています。

地域、州、および国のレベルで、データの収集と見直しに関して医療担当者の研修を行い、正確な妊産婦死亡の報告を義務づける法案の作成において政府職員を支援。この法案は後にナイジェリア議会を通過しました。「ナイジェリアにおける妊産婦の死亡を届け出の対象にしました。もはや妊産婦数の死は隠されたものではなく、公に知られるものとなったのです」

ドイツの会員は、経営、モニタリング、評価を援助するための技術面・運営面の専門知識を提供します。

詳細を読む

安全な出産

清潔な出産キットの配布、安全な出産方法に関する保健従事者の研修など、妊婦が安全な環境で出産できるよう支援しています。

1歳を迎えられるように

母乳に関する母親への指導、予防接種と定期健診の推進、防虫加工の蚊帳の配布など、赤ちゃんを守るための支援をしています。

幼い命を救う医療支援

日本とブラジルのクラブがロータリーの補助金を利用して、新生児の命を救う機器を病院に提供しました。

「日本の姉妹都市との絆、ブラジルの新生児を救う」

陣痛がはじまり、妊婦はおびえています。予定日は3カ月も先。一番近い病院は48kmも離れており、生まれても体重は1,000gに満たないでしょう。

問題はもう一つ。

病院の新生児集中治療室には保育器が7台しかなく、満員になると赤ちゃんを別の病院に搬送する必要があります。命をつなぎとめたとしても、両親は数カ月も長距離の病院通いを余儀なくされます。

「国際ローターHP」「Ｍｙ　ROTARY」で

詳細を読む

ロータリー活動を知ろう！

7月　　『母子の健康月間』

A.Iによると…

日本の母子の健康についての課題は、

1．健康格差

・日本は世界最高水準の母子保健を提供していますが、健康格差が依然として存在しています。特に低所得層や地域によって、アクセスやサービスの質に差があります。

2．少子化と晩婚化

・少子化の進行や晩婚化・晩産化により、出産年齢が高くなっています。これに伴い、妊産婦の健康管理や子育て支援のニーズが変化しています。

3．子育ての孤立化

・核家族化や子育ての孤立化が進んでおり、子育て世帯の支援が求められています。

4．メンタルヘルスケア

・妊産婦のメンタルヘルスケアが重要ですが、まだ改善の余地があります。

5．子どもの貧困

・子どもの貧困も母子保健領域で考慮すべき問題です。　　（子ども食堂の取り組みetc）

これらの課題に対して、政府や自治体、専門家、保健医療機関が連携して取り組んでいます。